

用語解説

1	広域利用	市町村間の協定により、それぞれの住民による図書館相互利用を行う制度
2	オンラインデータベース	ネットワークを經由し遠隔地から利用できるデータベースの総称 有償と無償のものがある
3	ブックポスト	図書館の閉館後や休館日にも利用者が図書館資料の返却ができるように図書館の入口付近に設置された収納箱。駅に設置されたブックポストは、開館時間を含めて常時の返却ができる
4	子どもの読書活動推進計画	子どもの読書活動推進を目的に、H23年度に策定された。H28年度から第2次計画が始まる
5	セカンドブックスタート事業	乳幼児へのブックスタート事業に続き、読書パスポートの配布など市内の小中学生を対象にした読書推進のための事業
6	宅配サービス	図書館に来ることができない利用者のために、図書館職員が利用者の自宅まで資料を届けるサービス
7	初級音訳者養成講座	視覚障害者などのために対面朗読活動や録音資料を作成する音訳者を養成する講座
8	図書館の設置及び運営上の望ましい基準	(H24年 文部科学省告示)社会変化や新たな課題への対応を進めるためにH13年に作られた「公共図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を改正したもの
9	これからの図書館像	これからの図書館像－地域を支える情報拠点を狙って(報告)(これからの図書館の在り方検討協力者会議 H18年4月) レファレンスサービスや課題解決型サービスの充実、印刷資料から電子情報などを含めたワンストップサービスの提供などの図書館への提言報告
10	地域の情報拠点	「これからの図書館像－地域を支える情報拠点を狙って－」(H18年文部科学省)の中核にある考え方 図書館は印刷資料からネット上の電子情報などのさまざまな情報を1か所で利用できる「ワンストップサービス」であること、地域住民の情報活用能力の育成支援を目指すべきだと規定した
11	情報サービス	資料単位のサービスを行う資料提供サービスに対し、資料に関する情報や資料が含む事実・データなど情報単位の提供を行うサービスのこと
12	図書館向けデジタル化資料送信サービス	国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版などの理由で入手が困難な資料について、公共図書館・大学図書館など(国立国会図書館の承認を受けた図書館に限る。)にデジタル画像を送信し、各図書館で画像の閲覧などができるようになるサービス
13	カーリルタッチ	スマートフォンを本棚のマークにタッチするだけで、さまざまな資料情報が得られるなど、本棚とインターネット情報源をつなげる仕組み
14	指定管理者制度	H15年9月施行の地方自治法の一部改正によって、公の施設の管理方法が管理委託制度から指定管理制度に移行した。これにより、公共的団体に限定されていた公の施設の管理を民間事業者、NPO法人などに委ねることが可能になった

15	課題解決型サービス	ビジネス支援や医療関連情報提供、地域情報提供など、パンフレットからデータベースまで資料・情報を横断的に収集し効果的提供を目指すサービス
16	生涯学習	人が自己の充実や啓発、生活の向上のために、自発的意思に基づいて生涯を通じて行う学習のこと
17	電子書籍	印刷して図書の形で出版されていた著作物を電子メディアを用いて出版したもの
18	読書に障害のある人	視覚障害者や発達障害者など図書・雑誌などの印刷物を読むことが困難な人
19	団体貸出	学校、高齢者施設、子供会など地域の施設・団体に図書館資料を貸し出しするサービス
20	滞在型の図書館	1990年頃から「滞在型」を称する図書館が増えている。①ゆとりのあるスペース、②快適性の重視、③付帯施設の充実、④本の貸し借りだけではなく多目的な利用を志向する図書館
21	多様な学習機会	「望ましい基準」に規定された図書館サービス 同基準では利用者、住民の学習活動を支援するため、講座、相談会などを主催し、また関係機関と連携し多様な学習機会の提供に努めることを求めている
22	サード・プレイス	社会学者レイ・オルデンバーグの用いた用語。都市生活者にとっての家庭、職場に加えて居心地の良い第三の居場所の必要性を説いた
23	音楽配信サービス	インターネットを通じた音楽配信サービス。図書館の場合には、利用者に一定期間有効なID、パスワードを提供、利用者はパソコンなどを通じてストリーミング再生を利用する形態が多い
24	場所としての図書館	資料のデジタル化、ネットワーク化の進行の一方、図書館の本質を見直し「場所としての図書館」「建物としての図書館」機能の見直しも行われている
25	マイクロ・ライブラリー活動	個人や小グループが、個人の蔵書や寄贈書などを用いて閲覧や貸し出しを行う私設図書館活動
26	図書館協議会	図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関
27	収集方針	図書館に所蔵する資料をどのような方針で構成していくかについての方針を表したもの
28	選書	図書館が受け入れる図書その他の資料を選定すること、またはその選択の手順 選定は、その図書館の収集方針、蔵書構成、利用者意向などに基づいて決定される。
29	集中選書	資料費を効果的に活用し、また新刊図書などのタイトル数を十分に確保するために、中央館・分館の選書を中央館などで集中して行うこと
30	開架	利用者が書架で資料を選べるスペース。逆に利用者が入れない書架スペースを閉架という
31	除籍基準	図書館資料のうち、汚損、破損、その他の理由で不用とされたものを原簿などの資料の記録から抹消することを除籍といい、その基準を定めたもの

32	リサイクル	除籍資料のうち、再利用可能なものを、希望者に提供すること
33	排架	書架上に図書館資料を配列すること 配架ともいう
34	資料組織化	収集・蓄積した資料を利用に供する際に、利用者による検索を容易にするために、一定の方式に従って体系的に資料を整理すること
35	目録作業	図書館に受け入れた資料の書誌・所蔵データなどの目録を作成する作業
36	装備作業	図書ラベルやバーコード、フィルムの貼付など図書館資料を利用可能な状態に準備する作業
37	視聴覚資料	CD、DVD、録音テープ、映像フィルムなどのように画像や音声、映像による資料
38	NDC	(Nippon Decimal Classification)日本十進分類法。図書館資料を体系的に順序良くまた取り出しやすいように並べておくために考案された特定の体系を分類法といい、日本における標準的な図書分類法。平成26年12月に10版が出版されている
39	MARC	(Machine Readable Catalog)機械可読目録。目録に記載される情報をコンピュータで直接処理できるような媒体に記録したもの。企業が販売しているものを商用MARCという。TRC-MARCはTRC((株)図書館流通センター)制作のMARCである
40	請求記号	図書館内で特定の資料を識別し、その資料の排架されている位置を示すための記号
41	全国書誌データ提供サービス	国立国会図書館が自館で作成したMARC(全国書誌データ)を無償で提供するサービス
42	図書記号	同一の分類記号を持つ図書を排列・検索を容易にするために個別化し、順序づける目的で付ける記号
43	蔵書新鮮度	ある年に新規に受け入れた図書の冊数を年の終わりの蔵書冊数で割った値。蔵書の利用は、受け入れ直後を最高として、その後は減少して行くので、蔵書の利用を高めるためには蔵書新鮮度を高める必要がある。
44	相互貸借	利用者の求めに応じ、設置者が異なる図書館の間で資料の貸借をすること
45	雑誌スポンサー	認定NPO法人 地域活性化プラザ(代表 石原猛男理事長)のサポートにより、スポンサー企業が購入費を負担し雑誌の寄贈をうける制度
46	メディアチェッカー	傷がついたディスクや研磨後のディスクの状態を検査する機器 CD・DVDなどの品質管理に用いる
47	視聴覚機材・器具	16ミリ映写機、プロジェクター、スライド映写機、スクリーン、暗幕、16ミリ映画フィルム、団体向けビデオやDVDなど
48	心身障害者ゆうメール	郵便局に届け出た図書館と障害のある人との間で図書の閲覧のために発受されるゆうメールを安い送料で利用できる制度

49	図書館資料郵送貸出	ゆうメール(着払い)などを用いて、図書館資料を郵送で貸し出しするサービス
50	閲覧	図書館内で資料を読んだり調べたりすること。館内利用ともいう
51	拡大読書器	一般の印刷された文字では小さすぎて判読できない弱視者や高齢者のために文字を拡大して見せる機器
52	デジジー再生機	デジジー資料(CDやパソコンのハードディスクに保存できるデジタル録音物で、CD1枚に50時間程度の録音ができる。)を再生するための機器
53	自動音声連絡	CTIシステム(電話やFAXをコンピューターと統合したシステム)を活用して、予約・リクエスト本の予約取置連絡、延滞資料の督促連絡を自動音声電話で行うこと
54	著作権法31条	図書館などが利用者の求めに応じその調査研究を目的に行う所蔵資料等の複写サービス等については、厳格な条件の下に著作権を制限して、著作権者の了解を得ることなく複写などを行うことができることを表した規定
55	レファレンスサービス	情報を求めている利用者に対して、図書館員が提供する人的援助。狭義には何らかの情報を求める利用者の質問に対して、回答となる情報そのものを提供したり、回答の含まれる情報源を提示・提供することをいう。
56	フロアワーク	カウンター以外のフロアで行われる利用案内、読書案内、レファレンスサービス、読み聞かせやその他の図書館サービス
57	レファレンスブック	最初から通読するのではなく、何かを調べるために、必要な項目だけを参照するために使う資料のこと。辞書、事典、図鑑、年鑑、便覧、統計類他
58	レファレンス協同データベース	国立国会図書館が全国の図書館と協同で構築しているレファレンスサービス支援のためのデータベース
59	SDIサービス	(Selective Dissemination of Information)選択的情報提供サービスと訳されることがある。あらかじめ利用者の求めるテーマをキーワードやその組み合わせによって登録してもらい、その内容にあったものの資料が新刊書などで入ったときに提供されるサービス
60	情報リテラシー	情報化、ネットワーク化に伴い情報収集・情報処理能力を能動的に行ったり、コンピュータやインターネットを適切に取り扱ったりすることができること
61	パスファインダー	あるテーマについて調べるときに役立つ資料や情報の探し方を簡単に紹介したもの
62	ブックスタート	4か月児健康診査実施時に赤ちゃんと保護者に絵本を渡す事業
63	歴史的音源提供サービス	歴史的・文化的に非常に貴重な音源を広く利用に供することを目的に、国内で製造されたSP盤などの歴史的音源をデジタル化して国立国会図書館が公立図書館等へ送信するサービス
64	デジタル化	アナログデータをデジタルデータに変換すること。電子化ともいう。文書をテキストファイルに変換することなどを指す

65	ツイッター	140文字以内の短文の投稿を共有するウェブ上の情報サービス
66	フェイスブック	友達や知人などとのコミュニケーションを目的としたソーシャルネットワークサービス
67	SNS	(Social Networking Service)登録された利用者同士が交流できるWEBサイトの会員制サービス
68	大活字本	弱視者や高齢者用に大きな活字で印刷された図書
69	OPAC	(Online Public Access Catalog)オンライン利用者目録。図書館の所蔵資料の情報をコンピュータに記録し、利用者がオンラインで検索できるようにした目録システム インターネット上に公開し検索・予約などをオンラインで可能にしたものをWEB-OPACという
70	ユニバーサルデザイン	文化、言語、老若男女などの差異、障害の有無に関わらず利用できる施設、製品、情報の設計(デザイン)をいう
71	バリアフリー映画会	視覚障害や聴覚障害など、映画を観賞するうえでさまざまなアクセスバリアをかかえた人たちと、共に映画を楽しめるような環境を整える映画会のこと。副音声付、又は字幕付き映画会などのこと
72	回想法	高齢者を対象に、昔の生活用具や写真などを使って記憶を引き出して脳を活性化させる心理療法。1960年代に米国で始まり、認知症の予防や進行の抑制に効果があるとされる
73	読み聞かせ	主に子どもたちに対し絵本や児童書を読んで聞かせること
74	おはなし・読み聞かせボランティア	利用者に対する読み聞かせや素話を図書館や学校などで実施するボランティアのこと 【市内で活動するおはなし・読み聞かせボランティア】 “上尾おはなしの会”“絵本と手あそびの会ぼけっと” “絵本の森 もこもこ”“お話の会 よむよむ”“児童文学実行委員会” “サイエンスの杜 ワンダーワンダー”“吉田るみ子と仲間たち” “上尾市青少年育成推進員” ほか
75	読書パスポート	図書館の利用案内や調べ学習の仕方、おすすめの本などを掲載しているほか、読書の記録ができるようになっているもの。平成26年度から小学生に配布している上尾市独自の事業
76	宝島スタンプラリー	おはなし会など図書館の催し物に参加するごとにスタンプを押していくスタンプラリーのこと。「読書パスポート」や「えほんのきろく」の中に掲載されている上尾市独自の事業
77	ポップ	紙に本のキャッチコピーや内容を書いたもの 図書利用の促進に効果がある
78	マルチメディアデイジー	音声、テキスト、画像などがシンクロナイズしたデジタル資料
79	音声デイジー資料	デジタル録音された音声による資料。見出しやページで任意の頁に飛んだり、しおりを挟んだりすることができる

80	選定基準	個々の資料を収集するかどうかを判断するときに用いる実務的な基準
81	青少年(YY)サービス	主に中高生を対象とした図書館サービス。上尾市図書館ではYYコーナーの名称で青少年向け資料のコーナーを作っている
82	調べ学習	生徒が課題について、図書館を利用したり、聞き取り調査をしたりして結果をまとめること
83	インターンシップ	在学中に企業などで、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと
84	ブックトーク	あるテーマのもとに流れを作って本を紹介する手法。主に児童サービスの手法として考え出された
85	(仮称)子どもの読書活動推進連絡会	第2次子どもの読書活動推進計画に規定された、図書館をはじめとする読書活動推進に係る関係各課の連絡会
86	(仮称)図書館・学校・学校図書館連絡会	第2次子どもの読書活動推進計画に規定された、図書館、学校などで作る連絡会
87	ポット	蔵書検索に用いる資料バーコード読みとり機。簡易貸出し機としても利用できる。
88	AYYレンジャー	子どもの読書活動支援センターが市内のあちこちに出張して活動することを目的として育成した、読み聞かせボランティアの総称
89	アニマシオン	子どもが生まれながらに持っている「読む力」を引き出そうと開発された、楽しく遊びながら本の世界に誘う試み。スペインのモンセラット・サルトラによって開発された
90	学校応援団	学習補助活動や読み聞かせ、環境保護活動、校内の見回りなど、各学校で活動するボランティア団体
91	やまびこジャーナル	朗読ボランティアグループ“やまびこ”が制作している録音雑誌(月刊)
92	図書館の利用に障害のある人	図書・雑誌などの活字読書に障害のある人、心身上の理由で来館が困難な人、施設入所者や入院患者など
93	朗読資料	視覚障害者向けに制作された録音資料と異なり、文学作品などを俳優などが朗読した資料で誰でも利用できる。CD資料が多い。
94	障害者用資料	点字資料、録音資料、拡大写本、大活字本、布の絵本、さわる絵本、点訳絵本、手話・字幕入り映像資料、マルチメディアデジター、LLブックなど
95	著作権法改正(37条3項)	同改正により従来許諾を必要とした公共図書館による視覚障害者などのための録音図書、拡大図書、デジタル録音図書の作成、貸出、インターネット配信が可能となった

96	発達障害	自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動障害など、脳機能の発達が関係する生まれつきの障害
97	郵送料免除	郵便法に基づく第4種郵便物。点字及び視覚障害者用録音資料は無料で郵送することができる。
98	対面朗読	視覚障害者の要求する資料をその面前で読んで聞かせること
99	部屋貸し	利用者自ら朗読ボランティアなどの手配をしており図書館は対面朗読室の貸し出しをしているだけの状態
100	中級音訳者養成講座	初級音訳者養成講座修了者を対象とした音訳者のスキルアップ講座
101	図書館協力員	音訳者講座を修了して、対面朗読及び録音資料制作に携わる人
102	コミュニケーション・ツール	コミュニケーションボードなど意思を伝達するための道具
103	読み書き支援サービス	視覚障害者などのために日常生活上に必要な情報が得られるよう、私信や通帳などプライベートな内容について代読、代筆すること
104	ピクトグラム	絵文字、絵言葉のこと。表現対象から視覚イメージを抽出し、シンプルな図記号で表したもの
105	AGA(上尾市国際交流協会)	国際交流に関わる個人及び団体の連絡調整や援助、市内在住の外国籍市民との交流や人権尊重を目的に活動している団体
106	ICタグ	(Information and Communication タグ) シールラベルなどにICチップと小型のアンテナを埋め込み、そこに記憶された情報を電波によって直接触れずに読み取る技術のこと。記憶装置と無線通信の機能をもつタグ(付札)
107	BDS	(Book Detection System)貸出手続確認装置
108	情報コンセント	情報通信機器をネットワークに接続するために壁などに用意された接続口のこと
109	埼玉県内公共図書館等横断検索システム	埼玉県内の公共図書館、類縁機関などの蔵書検索を統合したシステム。埼玉県立図書館が管理・公開している。
110	ビブリオバトル	参加者同士で、もっとも読みたいと思う本を紹介しあい、もっとも読みたいと思う本を投票で決める催し
111	NPO法人地域活性化プラザ	地域活性化を目的に設立されたNPO法人。雑誌スポンサー制度推進のために図書館と企業の仲介を行っている